



発行所
長野県下伊那郡高森町
下市田 高森町公民館
発行人
大 洞 利 雄
☎35-8211
印刷所
龍共印刷株式会社



はやし 春を告げる祭り囃子 ～新田諏訪神社の虎舞～

インタビュー



今年4月から、高森町教育委員会にて勤務しています。出身が滋賀県ということもあり、仕事のことはもち

ろんですが、町のことも、まだまだ知らないことが多いです。先輩たちに教えていただきながら頑張っています。高森町は自然も多く、人もあたたかくて本当に素敵な町だと感じています。今後は積極的に外に出て、人との関わりを広げ、町民の方に気軽に声をかけていただけるような職員を目指して頑張りたいと思います。

【教養部】文化祭での展示発表とステージ発表の運営、手作り体験教室を開催します。また、成人式の運営を行います。

【公民館文化祭】11月14日～15日

【成人式】1月3日

【視聴覚部】今年度から新体制でスタートします。高森町の歴史を、映像で残すことを目的とし活動していきます。映像の収集、整理、編集が主な活動となります。また、文化祭でのイベント参加も行います。

【体育部】公民館スポーツ大会に加え、今年度は町民運動会実施の年です。町民運動会では実行委員の皆さんと一緒に、盛大に開催します！また、公民館スポーツ大会では、スローピッチソフトボールとワンバウンドふらばるバレーを同時開催します。冬にはバタンク大会を開催します。大勢の地域の方と、大いに盛り上がりましょう！

◆スローピッチソフトボール&ワンバウンドふらばるバレー大会

7月5日

◆バタンク大会

2月7日

◆町民運動会

10月11日

今年度の公民館事業

桜を愛で抹茶に親しむ会 in 下市田学校

4月5日(日)、高森町有形文化財である下市田学校にて、「桜を愛で、抹茶に親しむ会」が開かれた。下市田学校は明治8年に建設され、下市田学校や青年学校、そして下伊那農業高校の分校として昭和55年まで利用された明治のモダンな

木造建築だ。現在は改築工事も終わり、生涯学習の拠点としてボランティア団体を中心に様々な利用方法が生み出されている。

今回のイベントは、下市田学校の保全や活用に取り組み「下市田学校応援隊」の主催で、5回目の開催となった。この日は朝から雨で、残念ながら屋外に設置された和傘の下で一服とはいかなかったが、校舎の窓越しに眺める景色は子供の頃の懐かしい記憶と重なり合っていた。春雨に濡れながら咲き誇るエドヒガン



文化祭 (前年の様子)

【編集部】

年間10回、公民館報の発行を行います。また、公民館報研修会に参加し、より読みごたえのある館報の作成に取り組みます。

◆公民館報研修会

7月25日

と同志援隊の吉田さん。この言葉にも階段に飾られた花一輪にも、込められた人の心遣いが何より温かかった。

説 論

春花薫る季節。町内にはどんな桜があるのか、ふと興味をわきインターネットで調べてみることにした。

とどった。この観光案内によると、麓から頂上までの約4kmの沿道が桜色に染まる、県下有数の桜の名所だという。

同じ高森という町名で、どちらにも県下屈指の桜の倉時代創建された含蔵寺

「共感」から見えてくる

自分の良さ、他者の良さ

「桜」と入力。まず最初に出てきたのは瑠璃寺の桜。その下に南小学校の「日本一の学校桜」の文字。次いで松源寺の桜、中学校の桜と続く。更に見ていると、「千本桜」の文字が目についた。「そんな場所があったかな」と思いクリックしてみると、それは我が町ではなく、熊本の高森町にある「千本桜」のこ

名所があるとなると、他に共通点はないだろうか、と俄然興味をわき、更に調べてみることにした。

まずは景勝地。我が町には信州たかもり温泉や南アルプスを臨む高森カント

を伴うからであろう。殺伐とした昨今、とかく他人との違いに目を向けがちだが、共感的に人と接することは、自分や相手の良さを見つけるのに一番近道な方法なのかも知れない。

「また、おいでてや」



窓越しの桜を眺めながら一服



町民運動会(前回の様子) 山吹会場

【その他】

公民館では、随時学習会を企画し、実施しています。「こんなことを学んでみたい!」など、ご意見がありましたらぜひお寄せください。

三面鏡

年の初め、うるう秒の話聞いた。4年に一度の間年は知っているが、初めて耳にした言葉だった▼日本では、今年の7月1日午前8時59分の最後の秒で調整が行われ、59分59秒の後に59分60秒として1秒を挿入し、その次が9時0分0秒になる▼古くは、地球の自転を基準にして「一日」という長さが決められていたが、時間を測る技術の進歩で原子時計でより正確な時間の測定ができるようになった。実は地球の回転速度にはムラがあるという。月の引力や地球の気圧、気象が影響していると考えられている。地球の一回転にかかる時間が長ければ、1秒を挿入し、一回転にかかる時間が短ければ、1秒減らすことになる。1972年にうるう秒による調整が開始されて以来、2014年末までに25回のうるう秒(挿入)が実施されてきている。そして、これからの将来のうるう秒については全く予測できないという▼宇宙の世界は何億年という単位だ。その中で生きる私たちの時間とはなんだろう。生まれて、あっという間に老いる。一瞬の儚いものであり、しかし自分にとってのもっとも大切なものが時間である。(時は金なり)の新解釈をみつけた▼自分ではない他の人のために時間を費やすこと。わたしもそう行動したいと願っている。

五穀豊穡、 区民安全を願う 牛牧獅子舞神楽

4月12日に牛牧神社「獅子舞神楽」が行われました。天候にも恵まれ、多くの人が集まり、始まるのを待っていました。

大きな屋台獅子がお寺の山門前におります。出囃子が始まり、猿の面をつけた者、赤鬼、青鬼が現れ、大声をあげて場を盛り上げます。山門の扉が「ドンドン・ドンドン」と叩き開かれると、孟関王（うでんのう）が姿を現しました。すると、鬼や猿が庭を駆け回り、祭りの雰囲気を感じ上げます。「ソリヤー」と孟関王が獅子の綱を引き、起こしました。暫く練ってから、お猿を先導に神社境内を目指して参道を練り進みます。

石灯笼の急な石段を登り鳥居を潜り、大杉の根元を通り抜け、急な石段を登りきると中庭広場に出来ます。

ここが孟関王、獅子の見せ場で、観客の目が注がれます。鬼や猿が観客を楽しませる場もありましたが、約1カ月間の厳しい練習成果を披露してくださいました。

参加者からは、「天気に恵まれて、いい獅子舞が奉納できました」「みんなの力で無事終えられました」と悔いのない様子でした。



今年も区民をお守りください!!



地域を愛し、守る消防団員に

新消防団長

筒井 透 さん（山吹新田）



団に入団し、若い頃から年の離れた地域の先輩方とお付き合いができており、その人柄の良さで地域でも人気者です。「早くから消防団に入ってすごいですね」と言

守備範囲は広がるが、その分、今まで以上に地域を知ることが出来る。団員も少ない人数で活動するよりも、大勢で活動できるようになることで活性化し、次の団員確保にもつながると思う」と語

今年の4月から、第32代消防団長に就任された筒井透さんです。お住まいは山吹新田で、奥様とお子さんの4人で生活されています。お仕事は山吹で足場工事を請け負う会社を営まれており、高所での作業を行う「高職人」として活躍されています。

筒井さんは、19歳で消防

入った。早くから消防団に入っているという筒井透さん。山吹新田で、奥様とお子さんの4人で生活されています。お仕事は山吹で足場工事を請け負う会社を営まれており、高所での作業を行う「高職人」として活躍されています。

筒井さんは「それぞれの

消防団

任命式・春季訓練

4月5日消防団の任命式・春季訓練が町民体育館で開催されました。

任命式では、今年度新たに入団した団員21名に辞令が、また26年度をもって退団された方に感謝状が渡されました。

任命式で筒井団長は「消防団が町民の生命・財産を守ることはもちろんだが、消防団員が地域の行事に参加することも重要な任務の一つである。そ

れらの消防団活動を支えてくれるご家族に感謝し、将来高森町の無火災・無災害を祈念する」と訓示を述べられました。



放水訓練

本格的な動きである、敬礼、右向け右、回れ右などの訓練をうけていました。続いて、雨の中放水訓練が行われました。団員たちは、きびきびとした動きでホースを繋ぎ、水利からポンプで水を送り、放水していました。

今日の訓練を見ていて、とても頼もしい高森町消防団ですが、無火災・無災害であって欲しいものです。

地球温暖化防止活動 88

春の農作業（たんじゅん農法）

実践記

たかもり環境塾

春になり、今年は草の腐菌床を畑に撒いて、軽く土に混ぜました。この時土の深さはおよそ20センチでした。1週間ほどしてみましたが、撒いてないところとは既に別物の土になっていました。ふかふかして、畝を作ることも楽でした。2週間して、現在は中国から輸入ちりとふかふかしてきています。土の中には白い菌がみられました。本日は昨年が続いて、石ころだらけだった畑に2年目の作業をして経過を見たかったので、膝が痛くなつて苦しみたくないと思い、もともととやわらかくて石のない畑を借りました。無理をしな今年も5月はじめには、キハダの苗木が届きます。私達が取り組んでいるキハダ植樹普及活動で、オウバクエキスとして、胃腸薬の原料や染料などに使われる薬木です。日本では伐り尽くして、現在は中国から輸入しています。ひのきなどの木材には50年以上かかりますが、キハダはその約半分で成木になり大木になりますから、CO2の吸収も期待できます。将来お金にもなりすし、現地で皮を剥ぎ、材は乾いてから運べます。

公民館主事交代

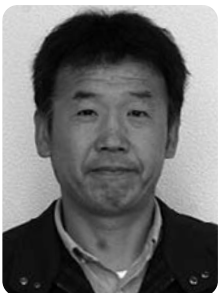
前主事 宮下 誠



このたび4月1日の人事異動により、公民館から給食センターへ異動となりま

した。公民館在職中には多くの皆様のご理解ご協力のもと、各種事業を遂行できましたことに深く感謝申し上げます。さて、公民館主事として2年間という短い期間ではありましたが、事業を通じて多くの皆様と関わることができ、私にとって

皆さんこんにちは。4月より公民館主事としてお世話になっております、下市田一区出身の上沼と申します。



新主事 上沼 徹

館が生涯学習の拠点として「人づくり地域づくりの場」として発展されますことをご期待申し上げましてお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

公民館の役割は、各個人の意欲を基に、地域の皆さんとの連帯感を図り、各種団体やサークルと連携して地域に根ざした活動の展開を担うものと考えます。主事として今後多くの方と関わり、コミュニケーションを通じて多くを学び、地域と共に自分も成長していきたいと思っています。ご迷惑をお掛けすることもありますが、よろしくお願い致します。